プレスリリース

2026 年 11 月 19 日

報道関係者各位

慶應義塾大学
北杜市
北杜市商工会

北杜市・北杜市商工会・慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科が産官学連携協議会を設立

～地域資源と先端技術を融合し、持続可能な地域産業と暮らしを創出～

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科（研究科委員長：南澤孝太、以下 KMD）は、山梨県北杜市（市長：大柴邦彦）、北杜市商工会（会長：小野光一）とともに、2026 年 11 月 12 日、「北杜市産官学連携協議会」を設立しました。2026 年 8 月 26 日に北杜市と KMD が締結した包括連携協定を踏まえ、地域産業を担う商工会を交えた継続的な実行体制を構築します。農業・観光の高付加価値化、先端技術による地域課題の解決、人材育成と関係人口の創出を柱に、地域産業の成長と市民の暮らしの向上を目指します。

1. 本取り組みのポイント

- 産官学の強力な連携体制：北杜市、北杜市商工会、KMD の三者が連携し、地域資源と教育・研究資源を活用する産官学連携の体制を構築します。
- 3 領域の統合による新産業創出：農業・観光、先端技術、人材育成・交流の三分野を結び付け、地域課題の解決と新たな産業の創出に取り組みます。
- 現場起点での継続的事業化：地域を実証・教育・研究・交流の場とし、現場との対話を通じて、継続可能な事業や人材育成につなげます。

2. 設立の背景・経緯

北杜市と KMD は、2025 年度から農業を起点とした地域活性化の検討・実証を進め、2026 年 8 月 26 日に包括連携協定を締結しました。自然環境、農林資源、食文化、観光資源など、北杜市が有する資源の価値を高め、地域の産業や暮らしにつなげることを目指しています。

こうした取り組みを継承・発展させるため、地域事業者との接点を持つ北杜市商工会が加わり、企画・調整から実証、成果の検証までを進める本協議会を設立しました。KMD は教育・研究の知見を活かし、市や商工会、地域の関係者とともに課題の整理と解決に取り組みます。

3. 主な取り組みの内容

(1) 自然・文化・食などの地域資源を活かした農業、観光と関連産業の高付加価値化

自然・文化・食などの地域資源を活かし、農業と観光、飲食、加工、流通、宿泊等を結び付ける取り組みを検討します。生産者の仕事や農産物が育つ過程を伝え、収穫前から購入・応援する仕組み

や、食と体験を組み合わせた滞在などを通じて、生産者の収益と地域での交流の拡大を目指します。

(2)　GX、DX、AX 等の先端技術を活用した課題解決と地場産業の高度化、レジリエンス強化

脱炭素化を進める GX、デジタル技術による変革である DX、AI を活用した変革である AX 等を通じて、地場産業の高度化や地域の防災力・回復力の向上を目指します。農業の省力化、再生可能エネルギーの活用、暮らしを支えるインフラなどを検討テーマとし、地域のニーズや導入条件を踏まえて研究・実証につなげます。

（3）人材育成や先端研究、教育の実証を通じた交流・関係人口の創出

研究・教育の実証や研修、合宿等を通じて、地域内外の人々が学び、交流する機会をつくります。食、農業、スポーツ等の地域活動と学術的な知見を組み合わせ、訪れた人が地域と継続して関わる仕組みや、次世代の担い手の育成を検討します。

4．推進体制

本協議会は、北杜市、北杜市商工会、KMD を構成員とする任意団体です。北杜市が政策や庁内の調整、商工会が地域事業者との連携、KMD が研究・実証や人材育成の面で協力し、事務局が関係機関との連絡調整を担います。事業テーマに応じて分科会等を設け、取り組みを具体化していきます。

5．今後の展開

本協議会は、地域の農家・事業者や関係機関との対話を通じて、優先して取り組む課題や役割分担を整理します。現場での調査や実証を通じて、産業の付加価値向上や人材育成につながる方法を検討し、地域で継続できる取り組みへと発展させていきます。個別事業の内容や実施時期は、事業計画・予算の議決や関係者との調整を経て具体化します。



※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。
※本リリースは文部科学記者会、各社社会部等に送信させていただいております。

・研究内容についてのお問い合わせ先
■ 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
　メディアデザイン研究科（KMD）は、イノベーションを自ら生み出し社会に向けて価値を創出する能力を持つ「メディア・イノベータ」の育成をミッションとしています。メディア・イノベータは分野や国境の枠を超えてグローバルに活動し、ポストパンデミックにおける創造社会を先導していきます。

　研究科委員長 ：南澤 孝太 (慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科委員長 兼 教授)
　住所 ：神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1
　URL ：https://www.kmd.keio.ac.jp/

□地域みらいプロジェクト
「持続可能な地域活性」の実現をミッションとし、専門家視点ではなく地域の実行者目線で最新技術や社会情勢を踏まえた解決案を実情に合わせて企画・実行します。自治体や地場産業、地域住民の方と一緒に活動しながら産官学のオープンイノベーション体制を構築し、農林水産や地場産業の活性化プロジェクトを実行しています。

担当教員 ：岸 博幸 (慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授)
プロジェクトマネージャー ：大江 貴志 (慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 研究員)
URL ：https://chiki-mirai.localinfo.jp/

・本リリースの配信元
慶應義塾広報室 TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640
E-mail：m-pr@adst.keio.ac.jp　https://www.keio.ac.jp/